

おさるのさんりんしゃ

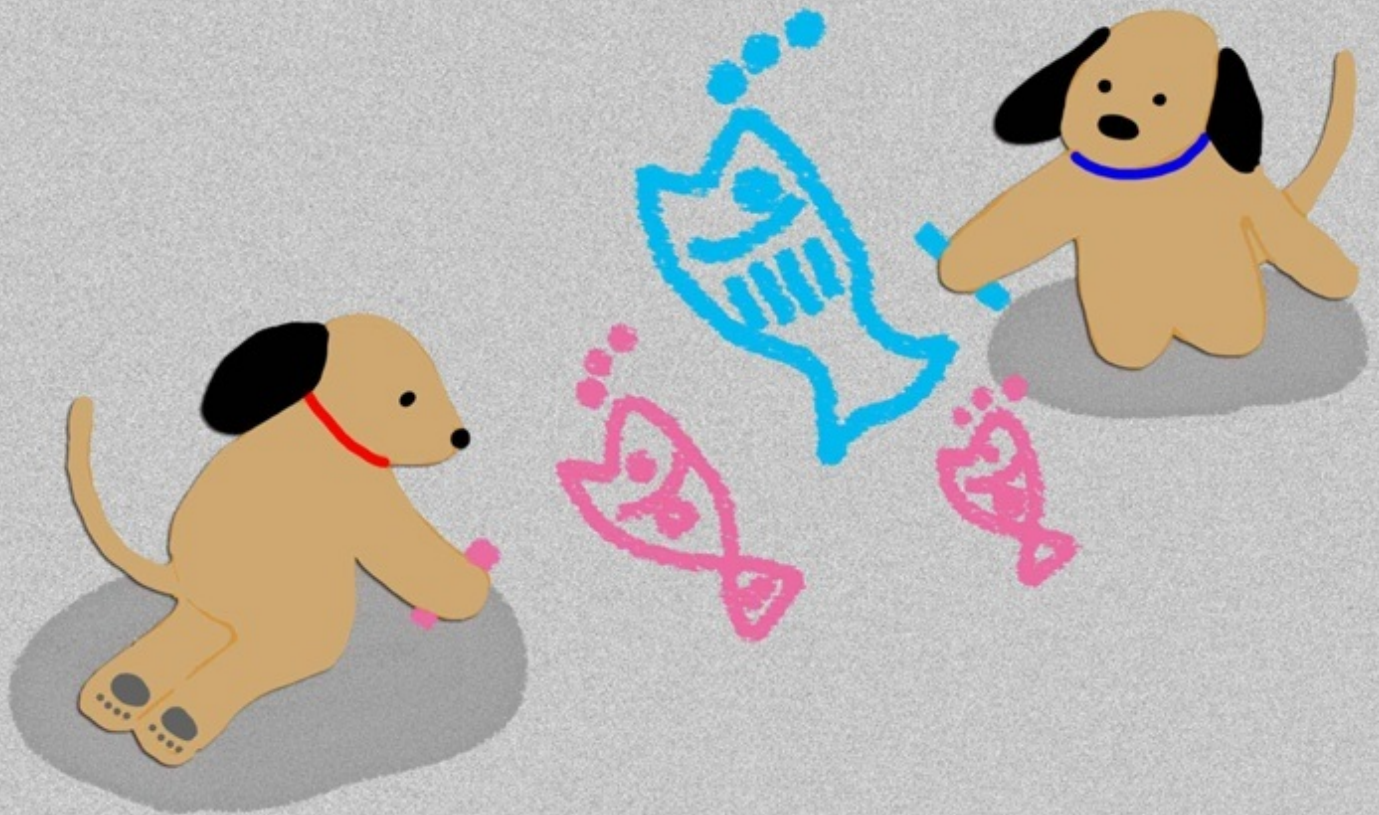


作 おかっぴ

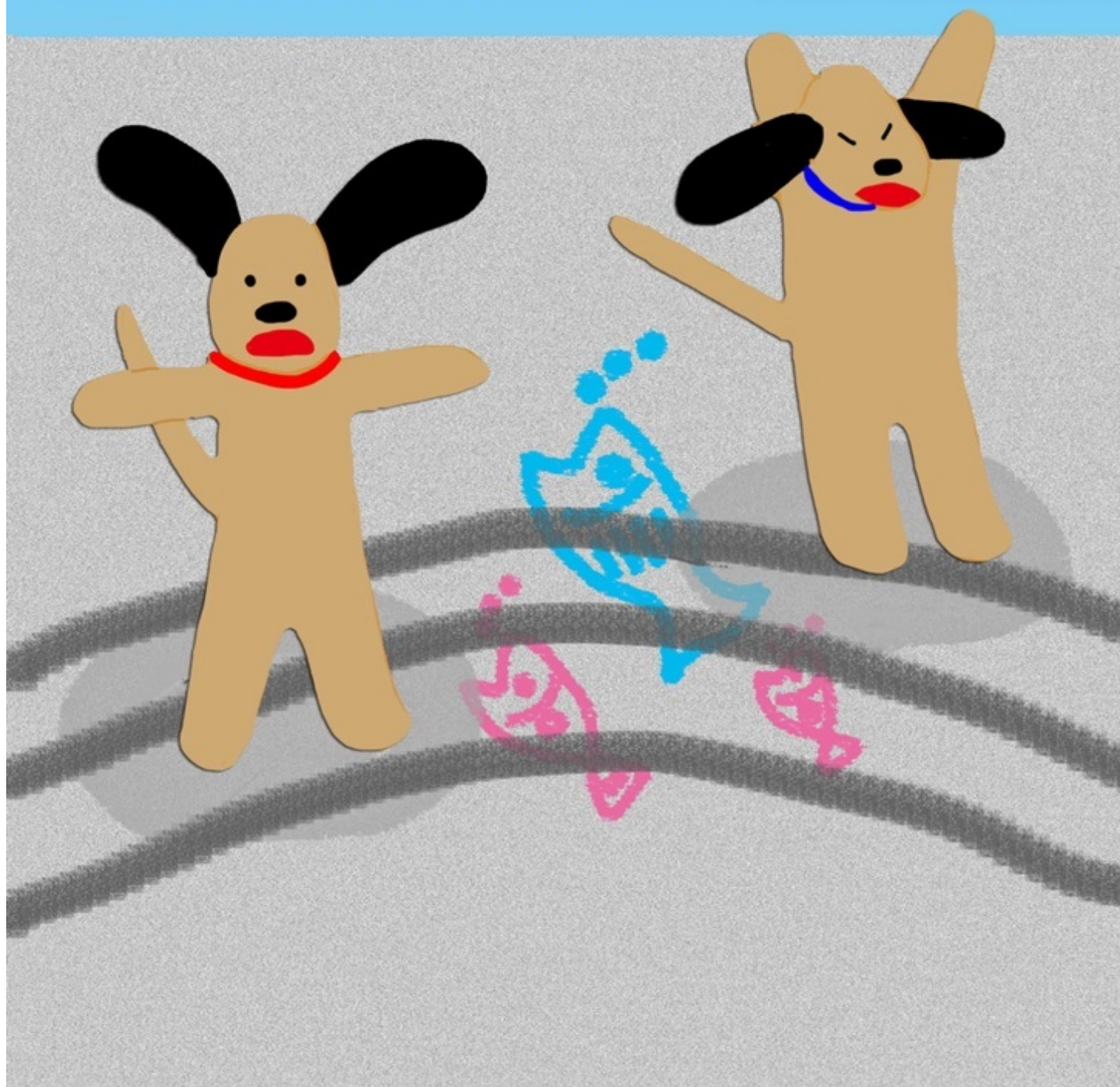
あるひ おさるの きょうだい が さんりんしゃで おでかけすると
ちよくで じめんに おえかきを している いぬの きょうだい
を みつけました。



「やっほー おさるのきょうだいの おとおりだぞ」
そういつて おさるの きょうだいは いぬたちの あそんで
いるところへ つっこみました。



「ぎゃあ」「なんてこと するんだわん！」
いぬたちが おこっても おさるの きょうだいは しらんかお。



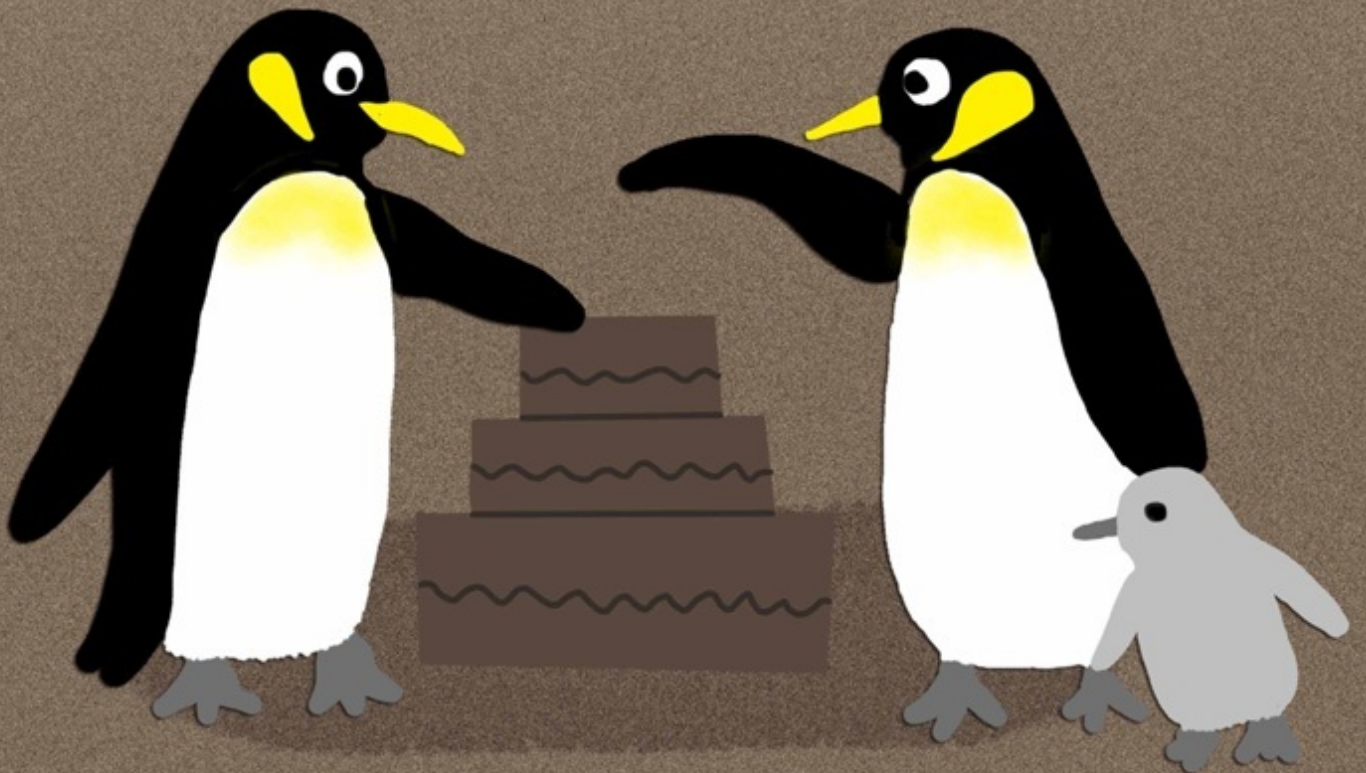
「あっかんべー」「みちの まんなかで あそんでるからだぞ」
とって おさるの きょうだいは そのまま いて
しまいました。



つぎに ペンギんの おやこが「すなあそびを
しているところを みつけました。



「それー つっこめー」
おさるの きょうだいは ペンギンたちが あそんでいるところへ
つっこみました。



「ぴきー！」 「ひどいわ！ ペったんこに なっちゃったじゃない」
ペンギンの おやこが もんくを いても
おさるの きょうだいは しらんかお。



「へへーんだ」「そんなの また つくれば いいだろー」
とって おさるの きょうだいは そのまま いて
しまいました。



つぎに みつけたのは ひとりで つみきあそびを
している ぱんだ でした。



「やっちゃえー！」
おさるの きょうだいは ぱんだが あそんでいるところへも
つっこみました。



「うえーん。 ばらばらに なっちゃったよー」
ぱんだは ないてしまいましたがおさるの きょうだいは
しらんかお。



「あっはっはー」「なくなんて おかしいぞー」
とって おさるの きょうだいは そのまま いて
しまいました。



つぎに おさるの きょうだいの めのまえに あらわれたのは
なにやら ちゃいろの かたまりでした。

「そのまま いけー！」

やっぱり おさるの きょうだいは つっこんで いました。



でも それは こわーい こわーい らいおんの せなかでした。
「あっちゃー しまった!」 「あわわわわ」



こらー!!!

「おまえたちの わるさについては ぜんぶ きいたぞ！
みんなと なかよく あそべないんなら くっちまうぞー！」
「ひえー！」



それから さんりんしゃは きめられた ばしょだけを
とおれるように しました。

また みんなで じゅんばんに あそぶように したので
みんなは まえより もっと なかよくなりました。



おさるのさんりんしゃ

<http://p.booklog.jp/book/55902>

著者：おかっぴ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/mintgreen6/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/55902>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/55902>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ